

平成16年度 島根大学公開講座総合科学研究支援センター講演会
健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト公開講演会

島根の科学 — おもしろい科学のはなし —

日時 平成16年10月30日（土）午後1時30分～3時30分

会場 島根大学生物資源科学部1号館101教室（松江市西川津町1060）

植物はなぜビタミンCを たくさん持っているのか？

講師：石川孝博（島根大学生物資源科学部）

植物は、我々ヒトにとって必須の栄養素となるビタミンC（アスコルビン酸）を非常にたくさん含んでいます。最近、なぜ植物がたくさんのビタミンCを持つのか、その理由の一端がわかってきました。光合成によって酸素を発生する植物は、同時に活性酸素による障害（酸化ストレス）をととても受けやすいのです。このため植物は、他の生物に比べて非常に優れた酸化ストレス防御系を発達させています。ビタミンCはこの中心的な役割を果たしています。この講演では、植物におけるビタミンCの働きについて私たちの研究成果を中心に紹介するとともに、酸化ストレス防御系を応用した環境問題や食糧問題解決の可能性についても紹介します。

身近な花々のルーツを探る

講師：小林伸雄（島根大学生物資源科学部）

私たちの生活を豊かにしてくれる花瓶の花や鉢植えの草花、そして庭の花木は、どれもみな野生の植物を改良し、利用しているものです。なかには遠く地球の反対側からやってきたものも数多くあります。世界の野山に、どんな様子に生えていた植物が、どんな過程を経て我々の生活まで届いているのかを南米や日本の植物を例に、写真を中心に紹介させていただきます。

入場無料 ぜひ御来場ください

問い合わせ先 島根大学総合科学研究支援センター
遺伝子機能解析分野（0852-32-6109）
松江市西川津町1060

主催 島根大学
総合科学研究支援センター
健康長寿社会を創出するための医工農連携プロジェクト

会場案内
松江市営バス 「川津大学」行、「北循環」で大学前下車すぐ
一畑バス 「本庄」、「美保関」行で大学前下車すぐ

